

2017年10月23日

国際プラスチックフェア 2017 に最新技術を出展

● ユーシン精機 ●

プラスチック射出成形品取出口ロボット専門メーカーの（株）ユーシン精機（社長／小谷眞由美、本社／京都市、資本金／19億8566万円）は、2017年10月24日から幕張メッセ（千葉市美浜区）で開催される「国際プラスチックフェア 2017」に新開発の振動制御技術を搭載したハイエンド製品取出口ロボット「FRA」シリーズをはじめとする最新技術を出展する。今回の展示内容は「INNOVATION NEXT」をテーマに、プラスチック射出成形の将来を見据えた取出口ロボット「FRA」シリーズにより「高速高精細取出」「国際安全基準」「IoT」「簡単さ」をキーワードにわかりやすいデモンストレーションを交えて披露する。

展示内容の概略

プラスチック射出成形業界において、「高速性」と「簡単さ」を追求し続けてきた当社が、プラスチック射出成形業界発展のためお客様の生産性向上をはじめとする「難易度の高い成形」「多品種少量生産」「人手不足」「現場に潜む危険」といった課題を解決できるアプローチを提案します。

1. 新振動制御機能

プラスチック射出成形の生産性を左右する成形サイクルタイムの短縮や、インサート成形をはじめとする高精度成形に不可欠な振動低減に対して、独自の「アクティブ振動制御機能」を搭載することで、様々な条件下でも高い制振性を発揮することをご覧いただけます。

2. 新型コントローラ

業界で初めて「タッチパネル式コントローラ」を標準搭載したユーシン精機が押し進めている「簡単さ」を更に進化させた「E-touch V」。縦型画面を採用しメインとサブの上下2画面で多くの情報を同時に解りやすく伝えることにより、段取り時間の短縮などを訴求しています。

3. IoT

生産性や成形品質の向上に不可欠な情報の見える化、取出ロボットのトラブル時間削減などに有効な IoT サービス。導入や利用料金のハードルの高さを感じることなく、取出ロボットを設置したその日から、誰でもすぐに利用できる「簡単・手軽さ」を追求した独自の IoT サービス「Intu Line」を体験していただきます。

4. 国際安全規格対応

安全回路の冗長化や安全速度監視などの搭載により各種国際安全規格に対応する安全レベルを世界最高水準で実現。「高速」かつ誰でも扱える「簡単さ」を目指してきた当社が、ロボットを安全に利用していただくため業界に先駆けて「安全」を提案しています。

5. EOAT

ロボットを利活用する際に不可欠なアタッチメントヘッドにも「簡単・手軽さ」を取り入れ、事例集の活用や自動設計ソフトウェアを用いれば誰にでも簡単に成形品に応じたアタッチメントヘッドが作成可能なツールを充実させ、ますます短くなる新製品（新規金型）リードタイムを短縮できる手法を披露します。

6. コンパクトストッカ

スペースに余裕のない現場のニーズに応えるため、従来機の設置面積を約 56%、機体幅を約 27%、省スペース化したコンパクト設計のストックシステムを展示します。コンベアしか設置できなかった場所にストックシステムを導入することで、成形品の回収に必要なだった人工数に時間的余裕を作り出すことで省人化にも貢献します。

(問合せ先)

広報担当：事業推進企画室 江副（えぞえ）

TEL：075-925-0400

本社：京都市南区久世殿城町 555 番地

【補足】

※アクティブ振動制御

ロボットに搭載したセンサなどからの信号をもとに、能動的（アクティブ：Active）に振動を打ち消す制御技術。振動を受動的に吸収し制振する技術に比べて高い効果が得られる。

※IoT（Internet of Things）

ロボットやセンサといった「モノ」がインターネットに接続されること。製造にかかわる情報をデジタル化しインターネットに接続、データ活用する。インダストリー4.0（Industrie4.0：ドイツ）、インダストリアルインターネット（Industrial Internet：アメリカ）に用いられている基本的な概念。

※「Intu Line」

Intuitive（直感的に簡単に）に使えることを目指してネーミング。

※EOAT（End-of-arm-tooling）

ロボットを人間に例えると腕の先端に位置する手の部分。対象物を搬送したり操作する際に吸着や把持などを行い、対象物を扱いやすくするため一品一様に設計される。

※ストックシステム

パレットなどに部品を整列させストックすることで、少ないスペースに大量の部品を保管できるため夜間生産の作り溜めなどもでき、作業者が受け持つ作業を削減できる。